

■中村岳陵 日本画家。横山大観の信頼を得て、院展に次々秀作を発表、後袂を分かち、戦後の日展に一つの勢力。

なかむらがくりょう

帝国議会始・1890＝ 静岡県下田で第九子に生まれる。

日清戦争始・1894＝ 4歳：

Bushidou・・1899＝ 9歳：

ピアノ国産化・1900＝10歳：上京し、

教科書疑獄・1902＝12歳：、「新選光琳百図」の著者野沢堤雨につき琳派を、

日露戦争始・1904＝14歳：、「土佐派の川辺御楯に大和絵を学んで、

日露戦争終・1905＝15歳：

アヲキヲ創刊・ 1908＝18歳：、「東京美術学校日本画科選科」に入学、また紅児会会員となる。

明治天皇没・1912＝22歳：、「卒業、第6回文展に「乳糜供養」を、

21ヶ条要求・1915＝25歳：、*再興第2回院展に「薄暮」を出品して認められ、同人に推されるとともに横山大観の信頼を得た。その後毎年、院展に出品、

ロシア革命・1917＝27歳：

原敬首相暗殺1921＝31歳：、「輪廻物語」、

円本時代始・1926＝36歳：

日本美術学校、多摩帝国美術学校で教える。

「浮舟」「竹取物語」「貴妃賜浴」といった大和絵研究の上にたったものから、しだいに装飾性や洋風の感覚が加味され、取材範囲もひろがって、

満州事変・・1931＝41歳：

国際連盟脱退1933＝43歳：、「第20回院展に「都会女性職譜」を出品、うちの“女給”は風紀に触れるとの名目で1日にして撤去された。

芥川直木賞始1935＝45歳：

二二六事件・1936＝46歳：、「改組第1回帝展出品作「豊幡雲」は、のち新宮殿豊明殿に緞通として飾られる。

日中戦争始・1937＝47歳：

第二次大戦始1939＝49歳：、*以降、法隆寺壁画の1号壁模写を担当。第26回院展に「流紋」を発表、水にうつる線のおもしろさと遊泳する鮎を感覚的にとらえた描法が注目を集める。

日米開戦・・1941＝51歳：

年金+総武装 1944＝54歳：

敗戦・・・・1945＝55歳：

新憲法施行・1947＝57歳：帝国芸術院会員。

朝鮮戦争始・1950＝60歳：、*日本美術院内部の確執から院を脱退、大観と別れ、第6回日展に「気球場」を出品、新たな決意を示し、

独立回復・・1951＝61歳：

テレビ放送始・1953＝63歳：

美智子妃・・1959＝69歳：、「四天王寺金堂壁画を制作し、

安保闘争・・1960＝70歳：、「毎日芸術賞、朝日文化賞。

全国総合計画1962＝72歳：、「文化勲章受章。

「晩年は風景画に新境地を打ち出し、戦後日展における一つの勢力を形成して、

全共闘・・・・1969＝79歳：、「没した。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、